

平成 年 月 日

三重県知事 野呂 昭彦 様

(申請者)住 所
団体名
代表者の職・氏名 (印)

NPO と県の協働ワークショップ提案書

このことについて、下記のとおり提案します。

記

- 1 協働ワークショップの名称 (概ね30字以内)
- 2 協働ワークショップの提案概要 (200字程度)
内容は別紙「協働ワークショップ提案企画書」のとおり

提案概要は県民に公表する際に使用します。事業の内容をわかりやすく記載してください。

4 団体について

団 体 の 名 称					
代表者の職・氏名					
団 体 の 住 所	〒				
T E L			F A X		
E-mail					
設立年月	年 月	構 成 員	人	担当者氏名	
担当者連絡先 (上記の団体連絡先と異なる場合、下記にご記入ください)					
T E L			F A X		
E-mail					

- (添付書類) 1. 団体の目的を記載したもの (設立趣旨書、定款、会則等)
2. 団体の年間活動計画書及び年間収支予算書
3. 団体の活動経歴
(定期刊行物、新聞切り抜きなどがあれば別途添付してください。)

協働ワークショップ提案企画書

(記載が複数ページにまたがっても差し支えありませんので、できるだけわかりやすく具体的に記載してください。)

協働ワークショップの名称	ワークショップの目的や内容が的確に理解できる名称をつけてください。 (30字程度) 思いは~サブタイトル~に。
提案の目的	貴団体がこのワークショップを提案する目的、ワークショップの内容と貴団体のミッションとの関連を記載してください。 (ここでは主に「目的の妥当性」について判断します。)
提案の背景	貴団体のどのような活動の中から、その問題が見えてきたのか。貴団体がこのワークショップを提案することに至った理由や背景を具体的に記載してください。 (ここでは主に「目的の妥当性、緊急性・重要性・先駆性・先見性」について判断します。)
県と共有したい課題	県と共有したい課題の内容を記載してください。なぜ県との共通の課題としていきたいと考えているのか、ワークショップの成果をあげるために貴団体が提供できるノウハウやスキル等を具体的に書いてください。 (ここでは主に「協働の必要性・効果、提案の重要性(先駆性・先見性)」について判断します。)
協働の効果	県と課題を共有することでどのような効果が期待できるのか、また、地域への影響や効果について記載してください。 (ここでは主に「協働の必要性・効果」について判断します。)
当該ワークショップの参考となる事例	県と共有したい課題の参考となるような諸外国や他の自治体等の先進的な取組事例、類似事例があれば記載してください。 (ここでは主に「協働の必要性」について判断します。)
その他	上記以外にこの提案に関して補足したいことがあれば書いてください。

企画書の各項目の()には、関連する審査の視点について、記載しています。